



とか、

作品が出来るまでの背

どんな人がどこで作っている もらえると思います。また、 幅広い世代の人に手に取って

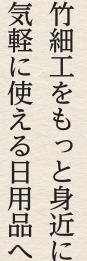
時代に合ったものを作れば、



普段使いを考え限りなくシンプ ルに編んだ「四つ編み」のカゴ

井上雅道さん

「タケカンムリ」の竹細工 職人。建築業から竹工芸の 道へ進み今年で20年目。地 元丹原の竹を素材に作品を 制作。工程や情報 はYouTubeで発信



vol.60

細工と聞くと、

細かく

西条

まちびと物語

思いますが、今の生活に合わ タイルや住宅環境も変化して ちですが、本当は普段の生活 いるのだから、作り手もその ています。昔と今では生活ス ルなものを作ることを意識し 時間もかかる分、当然値段も でもっと使ってもらいたい。 上芸品は、

日用品というより 高額になります。

職人が作る なくなってきている。手間も 工芸的なものが目に浮かぶと 人事に扱うイメージになりが だから、可能な限りシンプ 編んだ網目模様の伝統

有料広告

もらえることで、

伝統工芸や、

地域産業の活性 地元職人の は無い魅力の一つです。

この竹カゴを多くの人が見

身近に感じ興味を持って

さなどは、

大量の工業製品に

景やストーリーの面白さや濃

化に繋がればうれしいですね







